

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究持論)
(医歯理工学先端研究持論)

下記により大学院講義を行います。大学院以外の先生方も是非ご来聴下さい。

記

1. 講師： 中村 幸生 先生

(ノルウェー・オスロ大学歯学部 客員教授)

2. 演題： 外傷を受けた歯の歯髄変化について

3. 日時： 平成27年3月4日(水) 17:00~19:00

4. 場所： 歯学部演習室1・2 (1号館西6階)

5. 内容

外傷を受けた歯は、エナメル質・象牙質・セメント質等の硬組織はもちろん、歯髄にも大きな損傷を生じる。そして、このことが受傷後に様々な臨床症状を呈することにつながっている。外傷歯の診断や、また治療の対象として、歯髄の変化を的確に把握することは重要である。しかし、外傷歯における歯髄の診断に関して、多くの研究が行われてきたが、いまだに明確にされているとは言い難い。歯髄組織は、周囲を象牙質に囲まれた閉鎖空間に位置しているため、診断が困難であると考えられる。今回、動物実験で得られた所見をもとに「外傷を受けた歯髄の変化について」改めて考えてみたい。

連絡先：歯学教育システム評価学 (MDセンター) 荒木孝二 (内4577)